

監査報告書

一般財団法人

「喜・榮・音與」支援財団

代表理事 殿

平成29年10月15日

一般財団法人

「喜・榮・音與」支援財団

監事 山内 国博

監事 林原 昌志

私たちは、平成28年11月1日から平成29年8月31日までの事業年度における業務及び会計の監査を行い、次の通り報告する。

1 監査方法の概要

- (1) 業務監査については、理事会及びその他の会議に出席し、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて事業報告書及び理事の業務執行の妥当性を検討した。
- (2) 会計監査については、帳簿並びに関係書類閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて収支計算書及び計算書類(貸借対照表及び正味財産増減計算書)並びに附属明細書の妥当性を検討した。

2 監査意見

- (1) 事業報告書の内容は事実であると認める。
- (2) 理事の業務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はないと認める。
- (3) 収支計算書及び計算書類並びに附属明細書は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の正味財産の増減内容及び財産の状況を正しく示していると認める。

以上